

風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。
 undanから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。



町民の皆様へ

町民の皆様には、日ごろから町防災運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

東日本大震災をはじめ、阪神・淡路大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震や、平成29年九州北部豪雨、平成30年7月豪雨、平成30年台風24号は甚大な被害をもたらし、私たちに大きな課題と多くの貴重な教訓を残しました。

このような大地震や豪雨が起きても対処できるように、私たちは日ごろからしっかりとした防災意識を持ち、対策を考えておく必要があります。

皆様の安全を守るために、町でも防災対策の充実に努めているところですが、安全な地域づくりは、行政機関だけでは、十分な対応ができるとは言えません。

そこで、皆様一人ひとりが、防災の重要性を認識され、各種の防災活動に積極的に参加していただくことが不可欠です。

この「防災の手引き」は、皆様一人ひとりが、災害への日ごろの備えや心構えを、イラストなどで分かりやすく説明しており、防災に関する様々な知識をまとめ、いつ起こるか分からない災害に備えていただくことを目的としておりますので、家庭内の目のつくところに常備され、家族や地域の皆様で、防災についてお話をさせていただく際の参考にさせていただき、災害から身を守るよりどころとしてお役立ていただければ幸いです。

栄町長 岡田 正市

索引

●	町長挨拶・索引	1
🌊	風水害対策	2
!	災害の種類	3・4
🏠	地震対策	5
🔥	火災対策	6
♿	要配慮者のために	7
🚒	応急手当	8
📺	わが家の防災対策	9
📦	備蓄品および非常時持出品	10
📊	利根川水系最大浸水想定図	11・12
📊	利根川水系浸水継続時間図	13・14
📊	栄町全域図	15・16
📊	栄町防災マップ①～③	17～22
📊	揺れやすさマップ	23・24
🚶	避難所一覧・福祉避難所一覧	25
📖	わが家の防災メモ	26

大雨情報キャッチ

こんなときのわが家の安全対策。

大雨注意報・警報・特別警報の発表基準

- 大雨注意報** 大雨によって災害が起こるおそれがあると予想される場合。
- 大雨警報** 大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予想される場合。
- 大雨特別警報** 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。
 気象庁にて、地震により、地盤の緩みを考慮し、揺れの大きかった市町村については、大雨警報・注意報の発表基準(土壌雨量指数基準)を暫定的に引き下げて運用する場合があります。

雨の強さと降り方

単位:mm/時

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	滝のように降り、あたりが水しぶきで白くなる。マンホールから水が噴出する。がけ崩れが起こりやすい。多くの災害が発生する。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨。雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

単位:m/秒

10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～25未満	25以上～
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/秒以上の半径	強さ	最大風速(m/秒)
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/秒以上44m/秒未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/秒以上54m/秒未満
		猛烈な	54m/秒以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
 発生の予想は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意をする。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を最低でも3日分、できれば1週間分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、注意しておきましょう!

竜巻

竜巻とはこのような現象です

- 竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻きです。ろうと状や柱状の雲を伴っています。
- 台風、寒冷前線、低気圧などに伴って発生します。
- 短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。被害は、長さ数km、幅数十～数百mの狭い範囲に集中します。
- 移動スピードが非常に速い場合があります。過去に発生した竜巻の中には、時速約90km(秒速25m)で移動したものもあります。

竜巻の発生時に、よく現れる特徴

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

速やかに情報を把握するために

- テレビやラジオの気象情報や町からの防災無線などで提供される防災情報に注意して下さい。

